

業務の新聞

第19号

平成30年 3月26日

『2018春闘』

「これまでの会社の発展は社員の努力の成果」と“社員”に礼を尽くしながらも、2018春闘における会社回答は、私たちの要求とは大きな隔たりを感じさせられます。

『定期昇給を実施する昇給係数4とする』『4月1日現在の基本給に0.25%乗じた額を加える』『初任給に5000円を加える』と言う会社回答を皆さんはどうに感じましたか？

労働組合として、全組合員でたたかった結果です。次につなげるために振り返り、職場から出来ることを積み重ね、より良い職場とのより良い会社を創造して行きましょう！

交渉を行いました。

3/22、「東京総合車両センター業務量等に関する申し入れ」に回答を受け団体交渉を行いました。

分会から参加頂いた、吉田さんから積極的に論議をリードしていただきました。

班編成や配属について、要員補充について、教育・技術継承について、設備・備品老朽化・環境対策などについて、真摯に意見交換し改めて“問題提起”をしました。

ここ数年の論議でも、会社施策が“ゴテゴテ”になっている感じが否めません。現実に即した施策の実施と運用を強く要請しました。

現在、多くの職種で「業務委託の拡大」「技術継承」が課題になっています。現実を基礎に考えていきます。

東京総合車両センターにおいても“エルダー先の確保”“グループ会社と一体となった業務体制の見直し”として別事案で提案を受けています。

ダイ改の検証！

3月ダイヤ改正からは2週間が過ぎようとしています。

皆さんの職場や皆さんの仕事に“変化”はありますか？取り扱いや作業ダイヤなどに“不備”はありませんか？

地本として、3月ダイヤ改正の検証を行います。

気掛かりや問題点・職場環境改善など皆さんの声をもとに、支社に働きかけて行きます。『30周年アンケート』の内容も加えながら進めますのでご協力よろしくお願ひします。

「申」提出しました！

年度が変わろうとしていますが、東京支社は、地本が9/27に提出した『申1号（大会発言をもとにした申し入れ）』について、未だに回答をしていません。

地本執行委員会は、新たに申6号を発し、早急な回答を求めるとともに、“信義”に基づく対応を求める 것을決定しました。

会社回答と団体交渉の内容について皆さんに報告させて頂きます。

併せて、「エルダー先の提示」が会社スケジュールから逸脱し、未だに提示されていません。地本執行委員会は申5号を発し『早急なエルダー先の提示』と『制度の的確な運用』を求ることとしました。

「東京支社は人が多いから」「調整中」と言うような“言い訳”は認めるわけにはいきません。

ここまでこの会社の発展に貢献してきた先輩のこれから的生活を保証する「エルダー制度」です。会社にキッチンと制度の実施と運用をもとめていきます。